



個人投資家向け オンライン会社説明会

2022年2月9日

九州旅客鉄道株式会社（証券コード：9142）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績等は様々なリスクや不確実性等の要因により大きく異なることがあります。



KYUSHU RAILWAY COMPANY



本日お伝えしたいこと



JR九州について

- JR九州グループの主な事業内容
- JR九州グループのビジネスモデル
- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの強み

JR九州の 経営戦略

- JR九州グループの経営計画の体系
- JR九州グループが対処すべき課題と方向性
- 西九州新幹線開業にあわせたまちづくり
- JR九州グループにおけるE S Gの取り組み

株主還元

- 2022年3月期配当予想
- 株主優待制度



JR九州について



KYUSHU RAILWAY COMPANY

企業プロフィール（2021年3月31日現在）



- **会社名称** 九州旅客鉄道株式会社
- **設立** 1987年4月1日
- **本社** 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号
- **資本金** 160億円
- **従業員数** 単体 8,017名（連結 15,663人名）
- **事業年度** 毎年4月1日～翌年3月31日
- **発行済株式総数** 157,301,600株（単元株式数：100株）
- **上場市場名**
 - 東京証券取引所（市場1部）2016年10月25日上場
（新市場区分：プライム市場）
 - 福岡証券取引所 2016年10月26日上場
- **株主数** 127,253名
- **発行体格付（R&I）** AA－（安定的）
 - ※格付信用度 AAA> AA >A>BBB>BB>B>CCC>CC>D
- **子会社・関連会社**
 - 子会社 54社（うち 連結子会社42社）
 - 関連会社 7社（うち持分法適用関連会社4社）

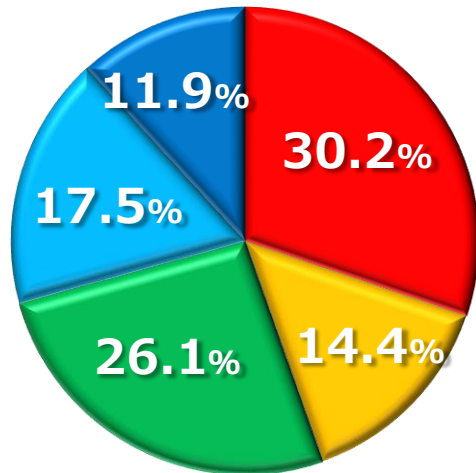


JR九州グループの主な事業内容



鉄道以外の事業による売上が約7割となっており
事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2021年3月期）】



運輸サービス



建設



不動産・ホテル



流通・外食



その他



JR九州グループのビジネスモデル



モビリティサービスとまちづくりのシナジーにより
沿線地域を中心に価値を創出

まちづくり



沿線価値の向上
人口増加

サービスにおける安全と安心
輸送力・ブランド力

モビリティサービス



提供する価値

持続可能な
モビリティ
サービス

地域のブランド
価値向上

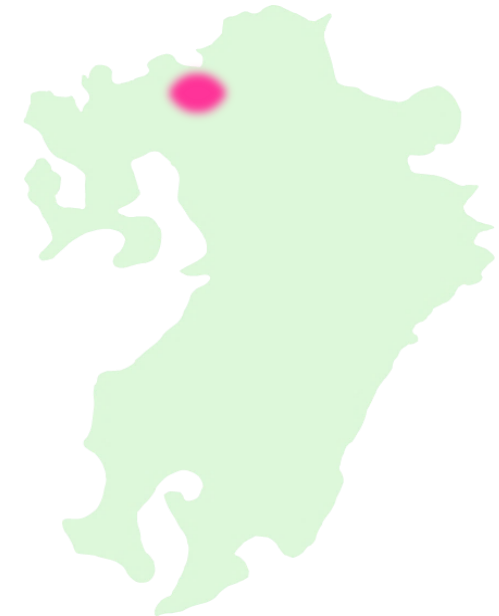
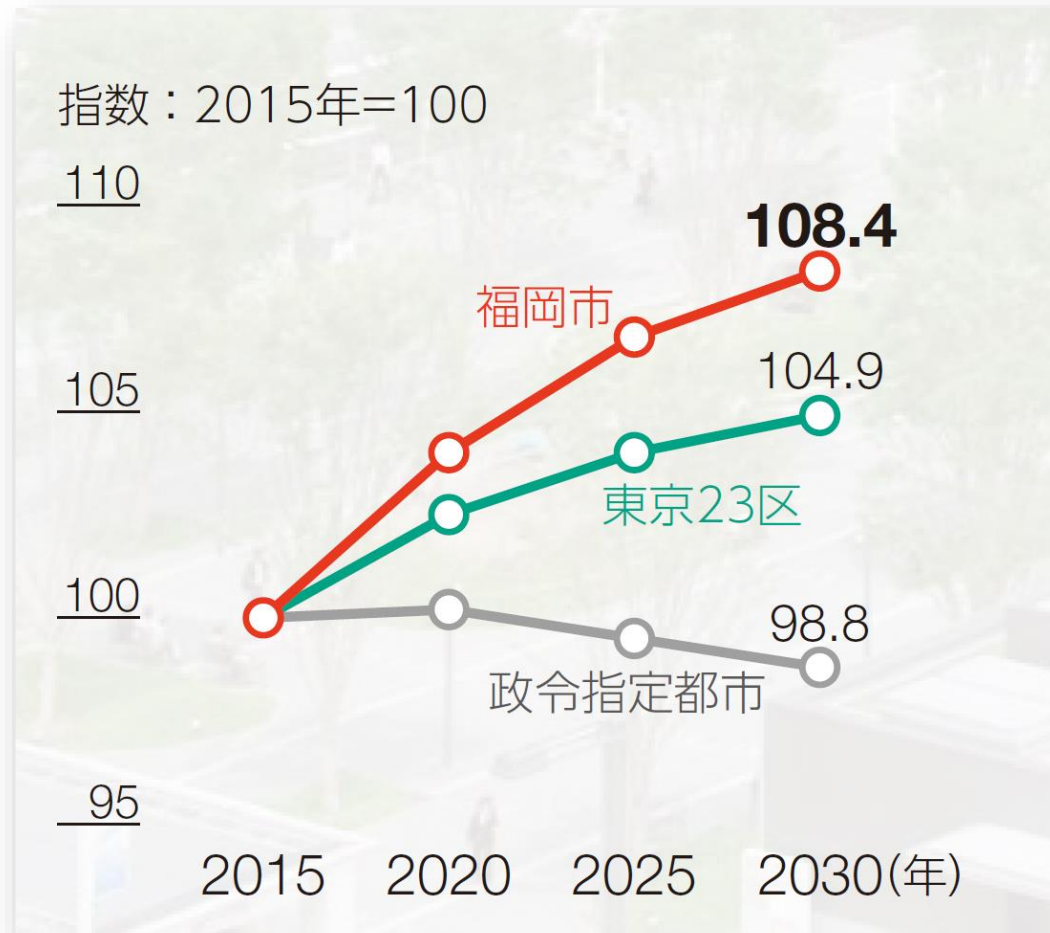
雇用、定住人口、
交流人口の拡大

記憶に残る
ひととき
感動の旅

九州を取り巻く状況



福岡市においては、将来の人口増加が見込まれる



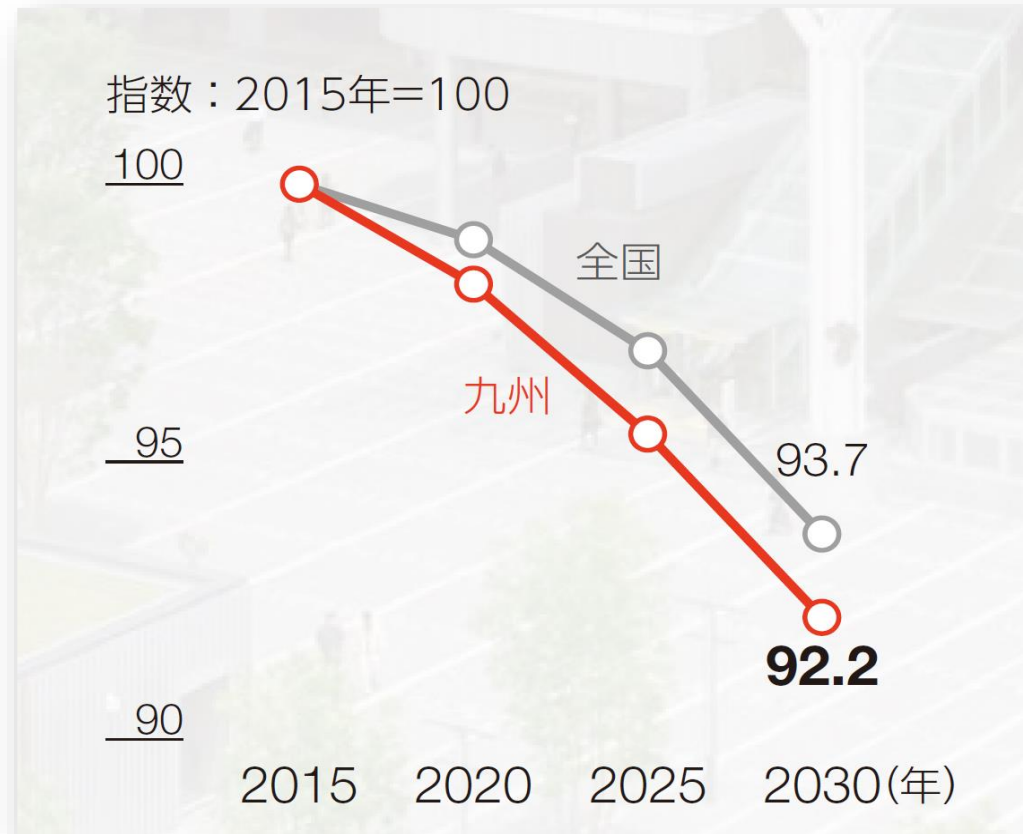
* 出所：日本の地域別将来推計人口（2018年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

写真提供：福岡市

九州を取り巻く状況



九州全体では、全国を上回るペースで人口減少が見込まれる



* 出所：日本の地域別将来推計人口（2018年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

九州のポテンシャル



九州各県には**豊富な観光資源**がある（食・温泉・自然・文化体験など）



写真提供：福岡市、大分県、公益財団法人宮崎県観光協会
写真協力：公益社団法人 鹿児島県観光連盟

JR九州グループのあゆみ



「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

JR九州グループのDNA

■ 赤字からのスタート

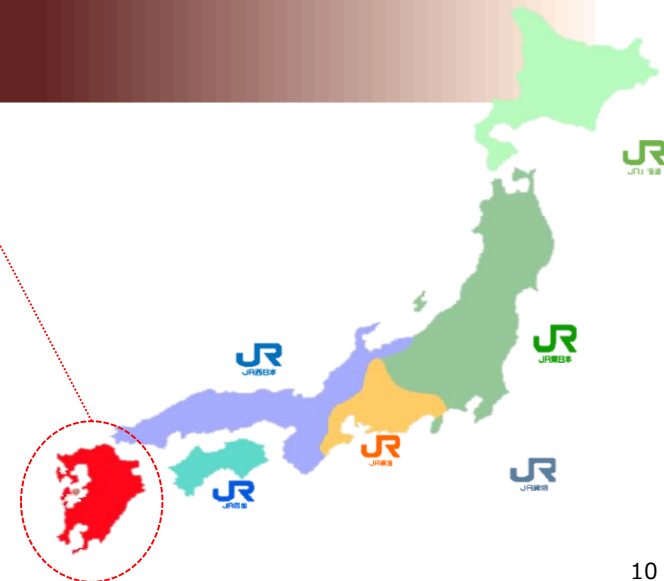
民営化当時は鉄道事業において約300億円の赤字

■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



JR
JR九州
1987

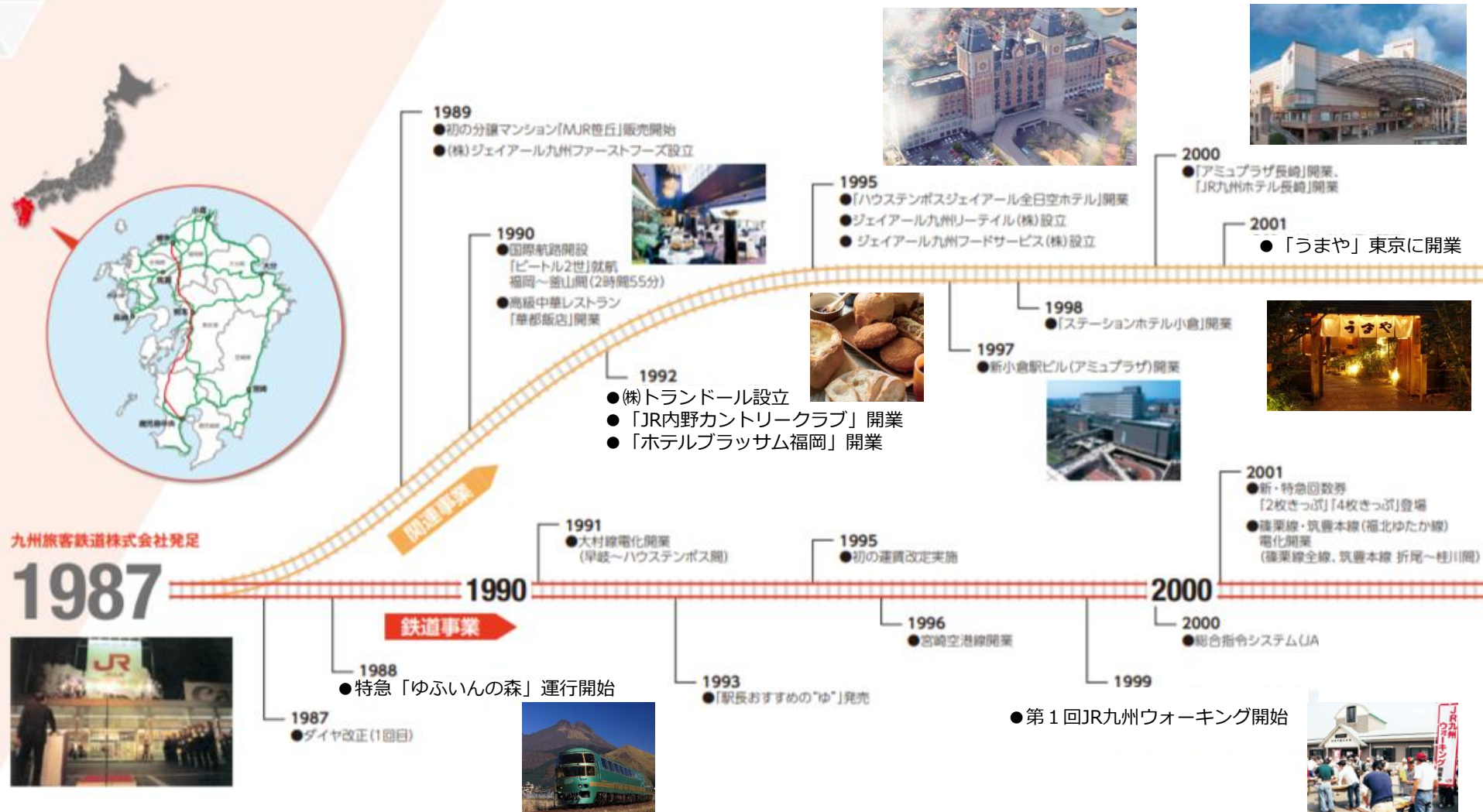


JR九州グループのあゆみ



鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値をつくり出してきた

価値創造の歴史



JR九州グループのあゆみ



九州新幹線・JR博多シティ開業の2010年以降、成長は更に加速

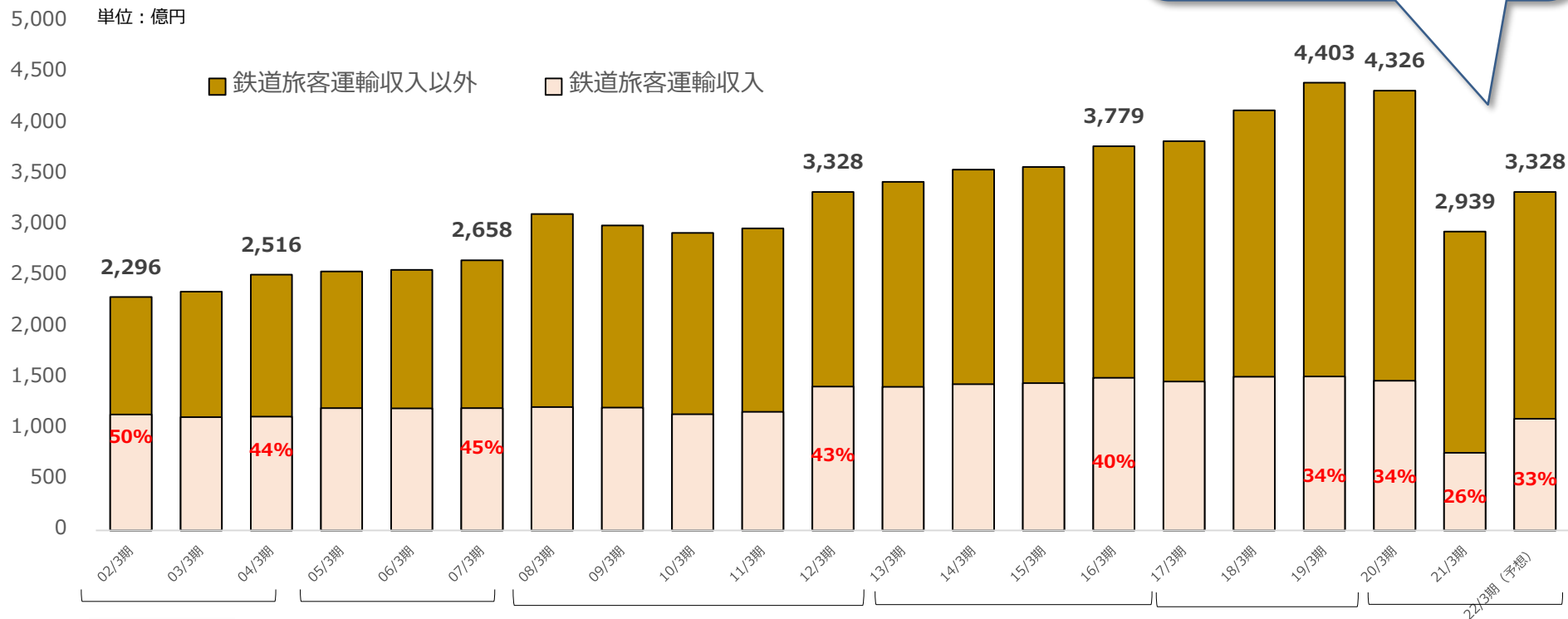


連結営業収益の推移（2002年3月期～2022年3月期）



多角化した事業が奏功し、**安定的な成長**を続けてきた

新型コロナウイルス
感染症の影響



G-Vision'03

中期経営計画
2004-2006

中期経営計画
DASH2011

つくる2016

中期経営計画
2016-2018

中期経営計画
2019-2021

JR九州グループの強み



これまでも、そしてこれからも「風土」として大切にしているもの



安全



サービス



人づくり

すべての事業において変わることなく大切にすべきもの

JR九州グループの強み



安全

“安全はあるものではなく、つくりあげていくもの”
との考えのもと、**安全性向上**に取り組む



サービス

「サービスを社風へ」と高めるべく、**お客さまの声**
に耳を傾け、サービスのさらなる向上・改善に注力



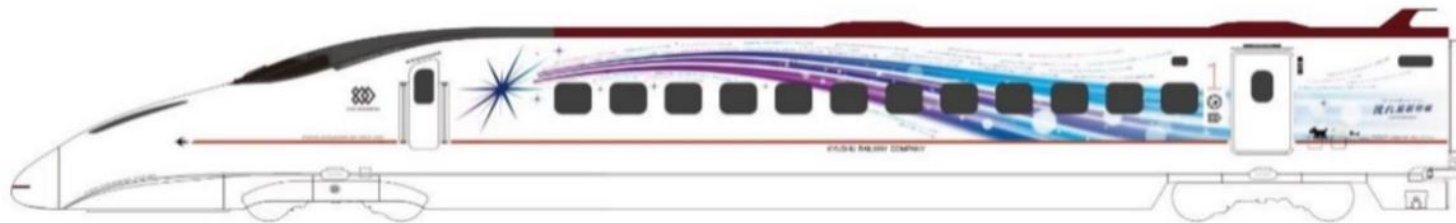
人づくり

学ぶ風土、行動する気風
従業員のひらめきや気づきを経営に活かす取組み

地域のみなさまとともに



「流れ星新幹線」特別運行（2021年3月）



JR九州 流れ星新幹線

検索

<https://www.youtube.com/watch?v=2002jGh7yU>



JR九州の経営戦略



KYUSHU RAILWAY COMPANY

JR九州グループの経営計画の体系



JR九州の「あるべき姿」と「おこない」

あるべき姿

安全とサービスを基盤として
九州、日本、そしてアジアの
元気をつくる企業グループ

おこない

誠実

成長と進化

地域を元気に

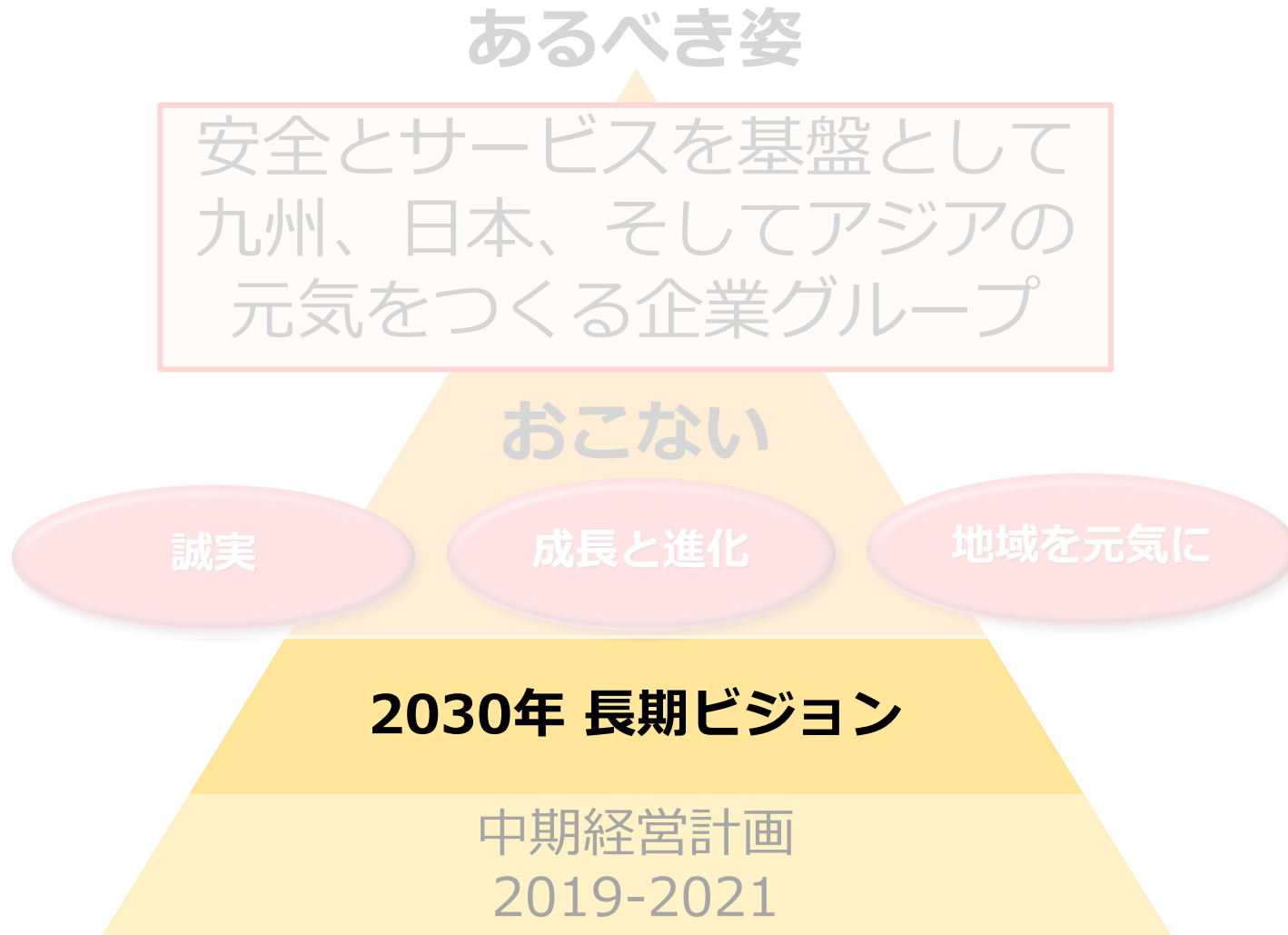
2030年 長期ビジョン

中期経営計画
2019-2021

JR九州グループの経営計画の体系



「あるべき姿」の実現のために**2030年長期ビジョン**を策定



2030年長期ビジョン



激変する社会環境をふまえ、JR九州グループが目指す姿を明確化

あるべき姿

安全とサービスを基盤として
九州、日本、そしてアジアの
元気をつくる企業グループ

おこない

協業

成長と進化

地域を元気に

長期ビジョン

中期経営計画

2019-2021

安全・安心なモビリティサービスを軸に

地域の特性を活かしたまちづくりを通じて

九州の持続的な発展に貢献する



JR九州グループの経営計画の体系



現行の中期経営計画



中期経営計画2019-2021



JR九州グループが次の成長ステージに昇るための3カ年
テーマは “次の「成長ステージ」に向けて”



JR九州グループ

中期経営計画 2019-2021

次の「成長ステージ」に向けて

中期経営計画2019-2021



重点取り組み①

更なる経営基盤強化

重点取り組み②

主力事業の更なる収益力強化

収支改善による
持続的な鉄道サービスの構築

拠点地域の戦略的まちづくり

重点取り組み③

新たな領域における成長と進化



2022年3月期 第3四半期決算ハイライト



第3四半期決算は増収増益

(単位：億円)

	2021年3月期 3Q累計実績	2022年3月期 3Q累計実績	対前年	
営業収益	2,024	2,227	203	110.0%
営業利益	△ 186	27	213	-
経常利益	△ 161	69	231	-
特別損益	25	△ 9	△ 34	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 116	92	208	-
EBITDA ^(※)	17	226	209	-

※EBITDA=営業利益+減価償却費（転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く）以下、全て同様です。

営業収益

新型コロナウイルス感染症の影響の継続やJR九州ドラッグイバンの持分法適用会社変更の影響（△124億円）があったものの、各事業における需要の緩やかな回復や、分譲マンション販売の増加により増収

営業利益

営業収益の増加に加え、引き続き鉄道事業を中心にコスト削減に努めたこと等により営業黒字化

2022年3月期 通期連結業績予想ハイライト



営業利益の通期連結業績予想は黒字に修正

(単位：億円)

営業収益

新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴う需要の低迷を見込むも、第3四半期決算実績及び私募REIT（不動産投資信託）への物件売却等を踏まえ上方修正

営業利益

第3四半期決算実績及び私募REITへの物件売却益等により営業黒字予想に修正

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期		対前年実績		対前回予想
		前回（11/2） 予想	今回（2/8） 予想			
営業収益	2,939	3,158	3,328	388	113.2%	170
営業利益	△ 228	△ 23	27	255	-	50
経常利益	△ 193	8	69	262	-	61
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 189	34	98	287	-	64
EBITDA	46	247	299	252	644.5%	52

JR九州グループが果たすべき役割



みなさまとともに新型コロナウイルスを乗り越えるべく
社会的役割を果たし、信頼される企業グループへ

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応

社会

- ・ 交通ネットワークという社会インフラの維持

お客さま お取引さま

- ・ 鉄道施設、駅ビル、ホテルなどの施設における頻繁な清掃や消毒
- ・ 駅ビルのテナント入居者に対する賃料の減額や支払い時期の猶予等による支援策の実施

従業員

- ・ 従業員へのトップメッセージの発信
- ・ 雇用維持を前提にした、一時帰休などの短期的な雇用調整
- ・ 時差出勤、テレワークの活用
- ・ 抗原定性検査キットによる早期職場復帰体制の構築

株主さま

- ・ 手元流動性の確保を最優先とした企業価値維持のための施策推進

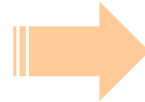
JR九州グループが対処すべき課題と方向性



After・Withコロナ時代において、JR九州グループが対処すべき課題と方向性

新たな当社の課題

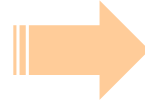
駅を中心とした
ビジネスモデル



当面の方向性

- 安全・安心を最優先とした事業運営
- 駅の価値をさらに高めるまちづくり
- 人の流れに依らない新規事業

固定費割合の高い
事業へのダメージ



- コスト構造改革の推進

九州の持続的な発展が
グループの業績に直結



- 九州の元気をつくる取り組みの強化
 - M&A及び地域特化型ファンド
 - MaaS

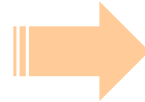
JR九州グループが対処すべき課題と方向性



After・Withコロナ時代において、JR九州グループが対処すべき課題と方向性

新たな当社の課題

駅を中心とした
ビジネスモデル



当面の方向性

- 安全・安心を最優先とした事業運営
- 駅の価値をさらに高めるまちづくり
- 人の流れに依らない新規事業

固定費割合の高い
事業へのダメージ



- コスト構造改革の推進

九州の持続的な発展が
グループの業績に直結



- 九州の元気をつくる取り組みの強化
 - M&A及び地域特化型ファンド
 - MaaS

安全・安心を最優先とした事業運営



安全・安心なモビリティサービス構築のため、
鉄道における感染防止対策を徹底



安心して、きっぷを購入していただくために

- 券売機や改札機の消毒を実施
- みどりの窓口などにビニールカーテンを設置し、飛沫感染を防止



安心して、駅をご利用いただくために

- 駅改札内に消毒液を設置
- ドアや窓などの開放
- 放送による、マスクの着用・咳エチケットへのご協力などの呼びかけ



安心して、列車にご乗車いただくために

- 列車内の消毒を実施
- 在来線普通・快速列車にて窓開けにより換気を実施
- 新幹線及び在来線特急列車にて空調装置により空気を入れ替え

駅の価値をさらに高めるまちづくり

-九州各地のまちづくり



- **駅周辺開発**や優先交渉権を獲得した**公募案件**など、開発計画は今後も継続
- **持続的な成長**を目指し、九州域内を中心とした積極的な投資を検討

● 長崎駅周辺開発

- 高架下開業（2022年3月）



高架下店舗イメージ

- 新駅ビル全面開業（2023年秋）



新長崎駅ビルイメージ

● 福岡都市圏における開発

- 箕子小学校
跡地活用事業（2024年1月）



- 福岡東総合庁舎
敷地有効活用事業（2024年春）



- 博多駅空中都市構想



● 鹿児島中央駅西口開発



I期開発イメージ（2023年春）



歩行者空間の整備イメージ

駅の価値をさらに高めるまちづくり

-宮崎・熊本駅周辺開発



駅を拠点とした開発により、**まちの価値向上**を図る

宮崎駅西口開発 (2020年11月20日開業)



周辺開発全景



「ひむか きらめき市場」



グランドオープン当日の様子



熊本駅周辺開発 (2021年4月23日開業)



周辺開発全景



アミュプラザくまもと

人の流れに依らない新規事業

-鉄道による物流事業への参入



新幹線の定時性・即時性を活かし、**新たな収益機会の可能性**を模索

鉄道による物流への参入



JR JR SAGAWA
JR西日本 JR九州



つばめマルシェ

お取り寄せっ!便



鈴懸

AMAMDACOTAN
DACOMECCA

新幹線荷物輸送の事業化

新幹線で荷物を輸送、
みどりの窓口で荷物を受取

JR西日本・佐川急便との協業

九州の特産品を関西エリアで販売

ECサイト×新幹線荷物輸送

出来たての商品や賞味期限が短い商品でも当日中にお届け（みどりの窓口で受取り）

人の流れに依らない新規事業

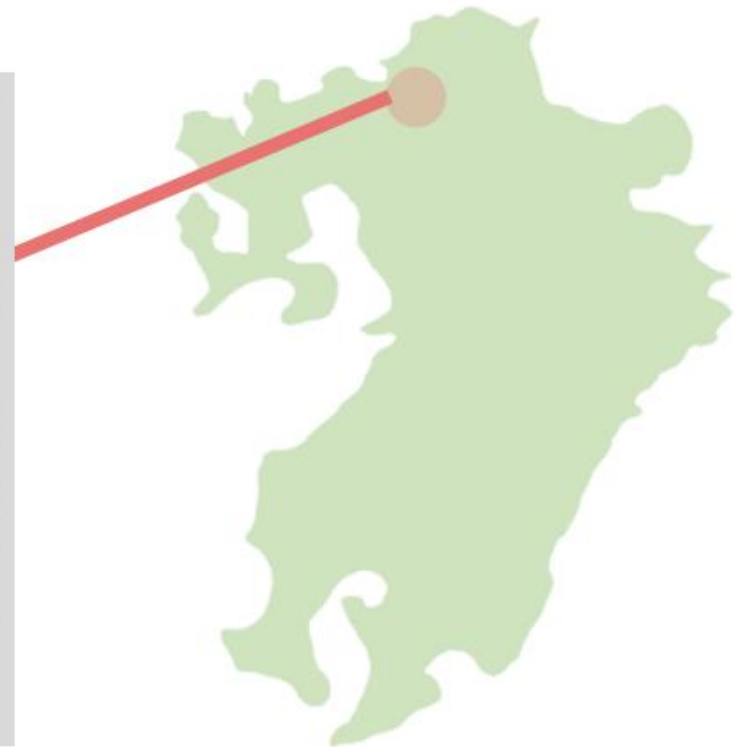
-不動産による物流事業への参入



不動産事業における新たな収益源への挑戦

不動産による物流への参入

- ポートフォリオの見直しによるリスク分散
- 「人流」に基づくビジネスモデルとは異なる事業への参入で地域を元気に



JR九州グループが対処すべき課題と方向性



After・Withコロナ時代において、JR九州グループが対処すべき課題と方向性

新たな当社の課題

駅を中心とした
ビジネスモデル



当面の方向性

- 安全・安心を最優先とした事業運営
- 駅の価値をさらに高めるまちづくり
- 人の流れに依らない新規事業

固定費割合の高い
事業へのダメージ



- **コスト構造改革の推進**

九州の持続的な発展が
グループの業績に直結



- 九州の元気をつくる取り組みの強化
 - M&A及び地域特化型ファンド
 - MaaS

コスト構造改革の推進 – B P R 戦略

(※ Business Process Re-engineering)



コスト構造改革を行い、業務運営プロセスおよび業務運営体制を再構築する

コスト構造改革の方向性

■ 既存施策の更なる推進

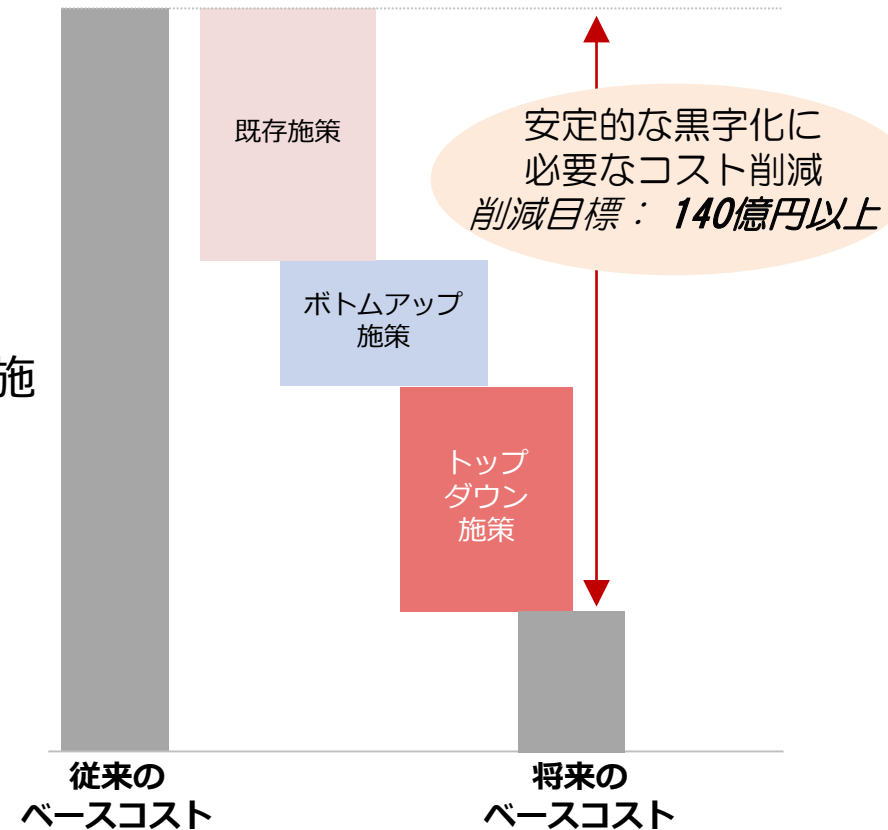
- ・ 生産性向上施策の推進

■ ボトムアップ施策

- ・ 現場発信の改善アイデアをクイックに実施

■ 経営陣主導のトップダウン施策

- ・ 組織のスリム化
- ・ 子会社のコスト及び業務構造の見直し



JR九州グループが対処すべき課題と方向性



After・Withコロナ時代において、JR九州グループが対処すべき課題と方向性

新たな当社の課題

駅を中心とした
ビジネスモデル



当面の方向性

- 安全・安心を最優先とした事業運営
- 駅の価値をさらに高めるまちづくり
- 人の流れに依らない新規事業

固定費割合の高い
事業へのダメージ



- コスト構造改革の推進

九州の持続的な発展が
グループの業績に直結



- 九州の元気をつくる取り組みの強化
 - M&A及び地域特化型ファンド
 - MaaS



九州の元気をつくる取り組みの強化

M&Aと地域特化型ファンドを活用し、速やかな事業ポートフォリオの強化と九州の持続的な発展に寄与する

M&Aによる事業領域の拡大例

株式会社ヌルボン(2021年8月～) …「仕入れ力」が強み。博多和牛一頭買いの店



株式会社萬坊 (2019年12月～)

…いかしゅうまい発祥の「呼子『萬坊』」



九州の元気をつくる取り組みの強化 – MaaS



地域活性化のための新たな地域インフラとしてMaaS※を推進

「移動需要の創出」と「持続可能な公共交通ネットワークづくり」を実現する

※ Mobility as a Serviceの略。ICTを活用して交通をクラウド化し、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとしてとらえ、シームレスにつなぐ新たな「移動」の概念



MaaSの取り組み状況



「北九州いってきまあ〜すチケット」



事業者間の連携強化

西日本鉄道（株）をはじめとした
地域交通事業者との連携

九州各地での主な取り組み

■ 宮崎エリア（2020年11月～）

複合ルート検索、チケット予約等のサービス
やモビリティサービスと生活サービス・観光
を組み合わせた様々なコンテンツを提供

■ 北九州エリア（2021年11月～）

西小倉～門司港間のJR乗車券、西鉄バス
北九州都市圏のフリー乗車券と、
特典クーポンのセット

九州の元気をつくる取り組みの強化

- MaaS



大分県由布院地区で **MaaS 実証実験**を開始（2022年2月～）

マルチモーダルルート検索

「my route」※を導入し、あらゆる移動手段（航空機・鉄道・バス・タクシー・徒歩）をつないで最適な経路を提案。

特集記事・スポット情報との連携

由布院エリアの観光情報や見どころ、イベント情報やおすすめの施設・店舗などの情報を提供。

デジタルチケットの販売

「my route」内で、交通乗車券と観光施設・店舗で使えるクーポンがセットになったチケットを発売。

※ 「my route」…トヨタファイナンシャルサービスが開発・提供するマルチモーダルモビリティサービス

西九州新幹線開業にあわせたまちづくり



西九州をもっと元気に！



- 西九州新幹線



- ふたつ星4047



- 新長崎駅ビル



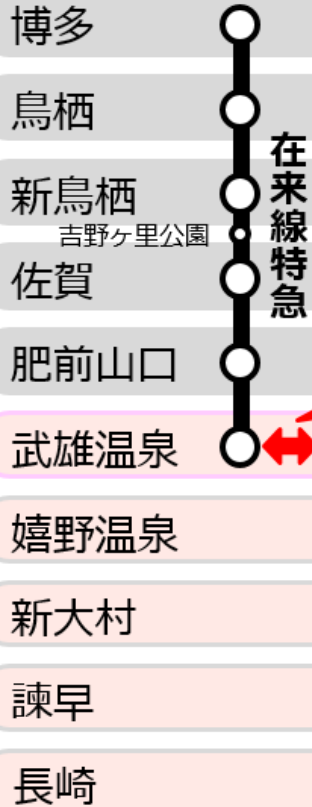
- 長崎マリオットホテル



西九州新幹線開業にあわせたまちづくり

西九州地区と福岡・中国・関西地区との更なる交流拡大をもたらす

概要



■ 西九州新幹線 武雄温泉・長崎間
2022年度秋 開業

長崎・博多間の時間短縮効果



※国土交通省資料引用





西九州新幹線開業にあわせたまちづくり

西九州地区と福岡・中国・関西地区との更なる交流拡大をもたらす

列車名・車両

かもめ

N700S 6両編成



西九州新幹線開業にあわせたまちづくり

-ふたつ星 4047



列車名は「ふたつ星 4047 (ふたつぼし よんまるよんなな)」

2022年 秋 運行開始！

コンセプト

「西九州の海めぐり列車」

車両デザイン

運行ルート



“ふたつ”の運行ルートで西九州エリアを1周

【午前発】 武雄温泉 → 長崎 (長崎本線経由)

【午後発】 長崎 → 武雄温泉 (大村線経由)



西九州新幹線開業にあわせたまちづくり

住みたい 働きたい 訪れたい

長崎市中心部へにぎわいが広がる、JR九州らしいまちづくり

かもめ広場及び施設外観イメージ（2023年秋頃の様子）



西九州新幹線開業にあわせたまちづくり

-長崎マリOTTホテル



住みたい 働きたい 訪れたい

長崎市中心部へにぎわいが広がる、JR九州らしいまちづくり

長崎マリOTTホテル（2023年秋頃の様子）





JR九州グループにおけるESGの取り組み

ESG経営は全社的課題



環境
(Environment)



社会
(Social)



ガバナンス
(Governance)

JR九州グループにおけるESGの取り組み



昔から変わらない「おこない」を通して、
ESG重要課題の解決に向けた取り組みを推進

ESG重要課題

持続可能な社会の実現

地域社会への貢献、環境問題への対応

健全な企業運営

経営の透明性、公平性の確立等

価値創造の源泉

安全、サービス、人づくり

あるべき姿

安全とサービスを基盤として
九州、日本、そしてアジアの
元気をつくる企業グループ

誠実

JR九州グループが
大切にしてきた

3つの「おこない」

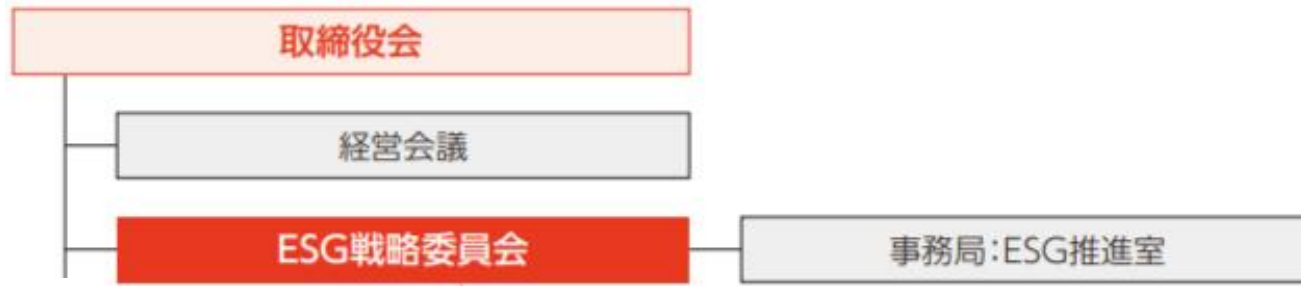
成長と
進化

地域を
元気に

JR九州グループにおけるESGの取り組み



2019年に「**ESG戦略委員会**」を設立し、
ESG経営を**全社的課題**と位置付けて取り組む



組織体	委員長	2021年3月期 開催実績
ESG戦略委員会	社長	2回
主な議論の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 統合報告書編集方針 ● 非財務情報の開示 ● ESG評価機関への対応 ● ESG投資家等からのご意見 ● 気候変動問題対応 		

JR九州グループにおけるESGの取り組み



2021年2月17日 TCFD提言への賛同を表明

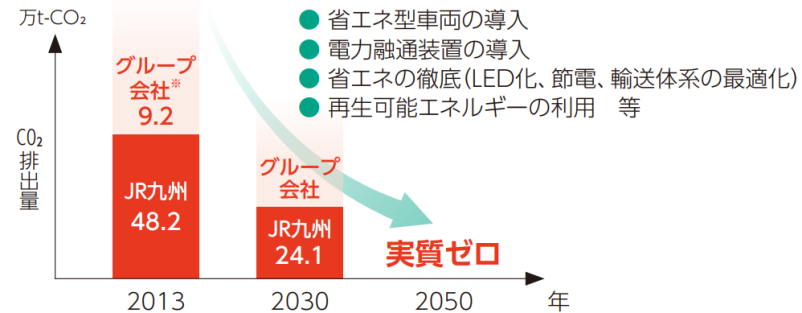
気候関連情報を開示し、環境に関する取り組みを推進

- TCFDが推奨する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの項目を開示
- JR九州グループにおいて**2050年CO₂排出量実質ゼロ**を目指すことを明記



※「TCFD」：気候関連財務情報開示タスクフォース
気候変動がもたらす「リスク」及び「機会」を把握し、開示することを提言

2050年までの削減イメージ



JR九州グループにおけるESGの取り組み



ESGに関する具体的な取り組み

環境負荷の低減



819系電車 架線式蓄電池電車「DENCHA」



YC1系蓄電池搭載型ディーゼルエレクトリック車両

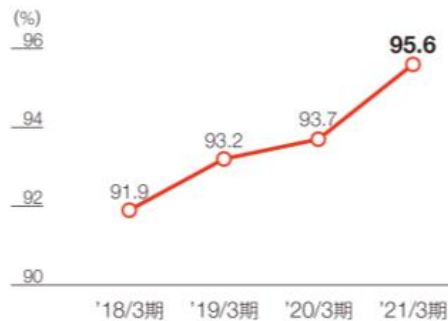


821系近郊型交流電車

働きやすい職場づくり

女性を積極的に現場長やグループ会社の役員等に登用

女性の定着率の推移



2022年3月期 健康づくり基本方針で掲げた 主な推進事項の進捗

知る・学ぶ

実行する

風土にする

	項目	'22/3期末 目標	'21/3期 実績	'20/3期 実績
知る・学ぶ	定期健康診断受診率	100%	100.0%	100.0%
	ストレスチェック受験率	100%	99.9%	99.9%
実行する	喫煙率	25%以下	28.6%	29.6%
	年次有給休暇取得率	85%以上	77.0%	78.9%

JR九州グループにおけるESGの取り組み



社外評価・ESGインデックス

社外評価・認証



■ 次世代特例認定マーク
「プラチナくるみん」



■ 建築物省エネルギー性能表示制度
（「BELS」）認証および「ZEB」認定



■ 「健康経営優良法人」の認定取得



■ 国際規格 ISO認証取得



■ 「えるぼし」認定

ESGインデックスへの組み入れ

2021 CONSTITUENT MSCI ジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

親指数（MSCIジャパンIMIトップ700 指数）構成銘柄の中から、
ESG評価に優れた企業を選別して構築される指数

※年金積立管理運用独立行政法人（GPIF）が運用を行う際のESG指数

JR九州グループ統合報告書2021



JR九州グループの財務情報に加え、経営方針・事業戦略・ESG情報などの非財務情報を記載した**統合報告書**を作成・公表



社長メッセージ

成長軌道への回復に全力を尽くし、
九州を元気にしていきます

2021年3月期、
新型コロナウイルス感染症とともに
見えてきた課題

2021年3月期を振り返って

2020年からの新型コロナウイルス感染症の拡大については、当初はこれまでの大きな影響をグループ全体に及ぼすとは考えていませんでした。さらに1年を越えてもなお、その影響は続く事象となっています。緊急事態宣言の発出や自粛、移動の制限などにより、当社グループのほぼすべての事業に影響を受け、緊急的措置として徹底した営業費用の削減に取り組みましたが、営業収益の大幅な落ち込みを補えず、228億円の営業損失となりました。2022年3月期は、コロナ禍の長期化が予想され、新たな生活習慣、いわゆるニューノーマルが定着する中で、私たちにとってはアフターコロナを見据え、構造的な課題に取り組みを早と認識しています。



JR九州 統合報告書

検索

https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/integrated_report/



株主還元



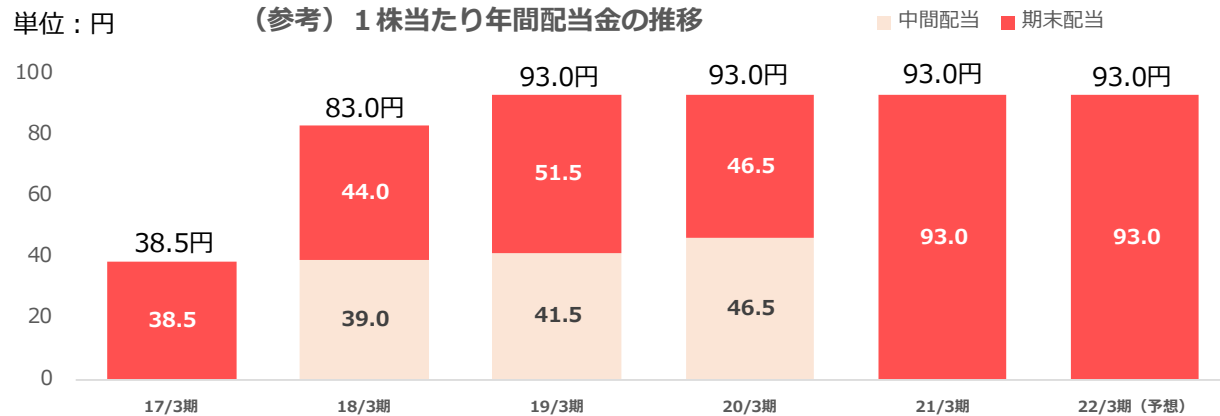
KYUSHU RAILWAY COMPANY

2022年3月期 配当予想



2022年3月期は**期末に93円**の配当予定

- 2022年3月期の業績も引き続き厳しい見通しであるものの、現行の株主還元方針に基づき、2022年3月期の配当予想は、**1株当たり年間配当金93円とする予定**
- 2021年3月期同様、新型コロナウイルス感染症による今後の業績への影響等を慎重に見極める必要があるため、**中間配当を行わず、期末配当の年1回とする予定**



配当性向	13.8%	26.3%	30.2%	46.9%	-	149.1%
総還元性向	13.8%	26.3%	30.2%	78.6%	-	149.1%

※期中に上場したため
期末配当のみ

※自己株式取得
(約100億円)

配当利回り (期末株価※終値で試算)	1.1%	2.5%	2.6%	3.0%	3.6%	3.9%
-----------------------	------	------	------	------	------	------

※1月末の終値で試算

株主優待制度



鉄道だけじゃない！うれしい特典がいっぱいの株主優待（100株から）

鉄道株主優待券

1枚につき、お一人さま片道の運賃・料金を**5割引**

JR九州グループ 株主優待券

JR九州グループの各利用対象施設で
現金同様にご利用可能な**500円券（一律5枚）**

JR九州高速船 株主優待券

QUEEN BEETLE（クイーンビートル※スタンダードクラス）
特別割引運賃【福岡-釜山】**10,000円（一律1枚）**
※新型コロナウイルスの影響により、クイーンビートル(福岡-釜山航路)の就航日は未定

さらに!!

500株以上保有し、**100株でも3年以上継続して**保有いただいた場合・・・

長期保有 株主優待制度

「鉄道株主優待券」と
「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

株主優待制度



鉄道株主優待券

ご優待内容

1枚につき、お一人さま片道の運賃・料金を**5割引**

対象のきっぷ

JR九州の営業路線完結のきっぷ
片道乗車券・特急券・グリーン券※・指定席券 ※個室を除く

■発行基準

所有株式数	発行枚数
100株～ 1,000株未満	100株ごとに1枚
1,000株～10,000株未満	10枚+ 1,000株超過分 200株ごとに1枚
10,000株～20,000株未満	55枚+ 10,000株超過分 300株ごとに1枚
20,000株以上	100枚



株主優待制度

JR九州グループ 株主優待券

※2022年1月末時点

ご優待内容

JR九州グループの各利用対象施設で
現金同様にご利用可能な**500円券（一律5枚）**



株主優待制度



JR九州グループ 株主優待券

ご優待内容

JR九州グループの各利用対象施設で
現金同様にご利用可能な**500円券**（一律**5枚**）

次期優待から**ヌルボン**でもご利用可能に!!

- **郊外型の焼肉事業**が強み
- 福岡県内（福岡市近郊）、佐賀県（唐津市）、熊本県（荒尾市）に焼肉、ステーキハウス、居酒屋が合計**15店舗**
- 「仕入れ力」が強み。「博多和牛」一頭買いで、**希少な部位や上質なお肉をリーズナブルにご提供**



株主優待制度



JR九州高速船 株主優待券

ご優待内容

QUEEN BEETLE (クイーンビートル※スタンダードクラス)
特別割引運賃【福岡-釜山】**10,000円(一律1枚)**

※新型コロナウイルスの影響により、クイーンビートル(福岡-釜山航路)の就航日は未定

次期優待から**国内遊覧コースが5割引**でご利用可能になります

➤ 福岡湾遊覧コース

- ・海上から福岡タワーや志賀島、能古島を眺めることができる90分のショートクルーズ
- ・ランチタイムに運航するので、船内カフェでの飲食（有料）を是非お楽しみください。

➤ サンセットコース

- ・夕暮れ時の博多湾を遊覧する120分のクルーズ
- ・福岡・中洲の名店『Bar Higuchi』が特設バーをオープン！
・・・ジャズやポップスの生演奏を行う予定です（ビジネスクラスのみ）。



※国際航路が再開するまでの間のご優待サービスです。





株主優待制度

長期保有株主優待制度

ご優待内容

「鉄道株主優待券」と
「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

発行基準

毎年3月31日を基準日として、**500株以上**を保有し、かつ
100株でも継続して**3年以上**保有

所有株式数	鉄道株主優待券	J R九州グループ株主優待券
500株 ～ 1,000株未満	1枚	2枚
1,000株以上	2枚	4枚

例) 2022年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、
直前3年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。

※「継続して3年以上保有」とは、毎年3月31日及び9月31日を基準日とする株主名簿に、同一の株主番号で連続して7回以上記載又は記録された株主さまといたします。なお、保有期間の判定については、2020年3月31日から過去に遡って行います。

※保有株式を全て売却して買い戻された場合や証券会社の貸株サービスをご利用されている場合などは、株主番号が変更され、対象者から外れる場合がございます。

株主優待制度



株主優待券の使用例①

帰省するAさんの場合（200株所有）



鉄道 10,660円^{*} + グループ 2,500円 合計 13,160円お得に!

*鉄道株主優待券2枚（博多～鹿児島中央間、指定席【通常期】、大人1名、往復ご利用の場合）

株主優待制度



株主優待券の使用例②

家族で旅行するBさんの場合（800株所有）



1 2
3 4



鉄道 18,080円[※] + グループ 2,500円

合計 20,580円お徳に!

※鉄道株主優待券8枚(博多～別府間、指定席【通常期】、大人2名、子ども2名、往復ご利用の場合)

注:鉄道の運賃・料金は2022年1月末時点で試算しております。

株主優待制度



株主優待制度のご案内



JR九州 株主優待

検索

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/stock/shareholder/>



JR九州について

九州内を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業などさまざまな分野で地域とともに「**価値**」を創出してきた企業グループ

JR九州の 経営戦略

「あるべき姿」の実現のため、2030年度長期ビジョンを掲げ**安全・安心なモビリティサービス**の提供と地域の特性を活かした**まちづくり**を通じて、九州の持続的な発展に貢献する

株主還元

株主還元を経営上重要な施策と位置づけ、**長期安定的な還元**を目指す

2022年度3月期は1株当たり年間93円の配当予想

(2022年3月期は中間配当を行わず、期末配当の年1回とする予定)

おわりに ～地域を元気に～



その日まで、ともにがんばろう (2020年4月)



JR九州 その日まで、ともにがんばろう

検索

<https://www.youtube.com/watch?v=x8rBv4hSHGk>

将来の見通しに関する記載について



本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。



ありがとうございました



KYUSHU RAILWAY COMPANY